

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能障がい児通所支援　オリーブのねっこ		
○保護者評価実施期間	2024年　4月　1日　　　　　　　　　　　～　　　　　　　　　　　2025年　3月　31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34 (回答者数)	25
○従業者評価実施期間	2024年　4月　1日　　　　　　　　　　　～　　　　　　　　　　　2025年　3月　31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　5月　8日　　　　　　　　　　　～　　　　　　　　　　　2025年　3月　31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所以外にも同じ法人内に訪問看護や保育園などの施設が隣接しているため、連携をしてのサービス提供が可能である。	最大限、利用者さまのニーズにお応えできるよう他部署と連携しながらサービス提供を行っている。	利用者さまが必要な時に必要なサービスを受けることができるよう必要時、他部署との連携を行っていく。
2	同じ敷地内に保育園があり交流を持ちやすい環境である	月2回の交流保育や運動会イベントなど交流を行っている	保育園だけでなく、他事業所や保護者同士の交流など計画し行っていきたい
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	退職や移動などによる職員不足があり充実した支援に至らなかった。	職場環境、教育体制が不十分であった。	利用者さんが過ごしやすい環境を整えるために、まずは職員が働きやすい環境を整え、支援に力が注げるように工夫をしていく。 また、教育体制や職員間の連携を高め職員にとっても利用者さんにとっても安心して過ごせる場となるよう努める。
2	十分な個性のある支援が行えていなかった。	計画的な支援、情報共有など時間が作れず、不十分であった。	定期的に情報共有や会議の場を設け、計画的な支援が行えるよう整えていく。 職員研修、教育の充実、プライマリー制度を導入し、より、ひとりひとりの個性を大切に丁寧な支援を行う。
3			